

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		すまいるプラス				公表日	2025年2月25日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	0	・法の基準を満たしている。 ・部屋が何部屋があるので別々の場所に分散できている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	0	・人員配置基準に従い、対応している。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障がいの特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	0	・バリアフリー化はされていないが、現在の利用者様には問題無い。階段には手すりがあり、子どもが上り下りする時は指導員が下側に居るように気を付けている。 ・視覚からも得られるようになっている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	0	・個室がしっかりと区切られている。完全個室ではない為、別室の声などが聞こえるが、状況に応じて声掛けをする事で対応している。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	0	・部屋が多いので勉強、活動、遊び、クールダウンなどで使用することが出来ている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9	0	・ミーティングや支援記録記入時に振り返りや話し合いを行っている。その場にはない指導員にも周知出来るように記録に残している。	・紙面だけでなく、口頭でも伝えて確実に情報共有出来るように心がけていく。 ・話し合う時間が不足する事もあるので、場合に応じて会議等の時間を設けていく。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	・可能な限り実現し、保護者の意向に沿えるように心がけている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	・ミーティング時や支援記録記入時に気付いたことを話し合っている。 ・その利用者に合った支援を指導員で話し合うようにしている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	3	・第三者評価は行っていない。	・第三者評価は行っていないが、外部講師に来てもらい、支援の評価を行いよりよい支援につなげている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0	・定期的に外部講師を招いて社内研修を行っている。 ・外部研修にも積極的に参加している。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0	・ホームページや予約表にて公表している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9	0	・アセスメント内容を共有し、指導員全員で意見を出し合って作成している。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0	・アセスメントや全指導員で行うモニタリングを元に計画を立案している。	・個々の強み、弱みを理解し、より良い方向に向くように話し合いを重ねていく。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0	・支援記録を記入するファイルに複写をファイルリングし、計画に沿った支援が行えているか確認しながら日々の活動の記録をしている。確認しやすい場所に提示しておく事で支援に繋げやすくしている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	0	・日々の記録を支援記録に残し、確認や分析、反省等を意識して行っている。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0	・アセスメントやモニタリングから支援内容を決定し、個別支援計画に記載している。		

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	0	・日々の生活の中で子供がやりたいと言っていた活動を提案している。 ・四季を感じたり社会性が身に付く活動を設けている。	・身辺自立や社会自立に繋がる活動を考えて立案していく。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0	・同じプログラムでも、連日して同じ内容が続かないように意識して活動を設定している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9	0	・集団活動や個別活動を組み合わせ、5領域を意識した計画作成、支援を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	1	・ミーティングを行い、支援内容や分担について確認している。また、分担した内容にこだわり過ぎず、状況に応じて臨機応変に対応している。	・その日の職員の勤務時間が異なる為、共通理解しているか不安。ミーティング内容を紙面に残し、ミーティングに不参加だった指導員は記録確認を徹底していく。また、口頭伝達も行っていく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	0	・個別の支援記録に記入している。気になった事があれば共有・分析を行っている。	・退勤時間内に記録記入を兼ねているので十分共有出来ない時がある。話し合った内容は紙面に残して参加出来なかった指導員が確認出来るようにし、次回出勤時に口頭伝達も行っていく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0	・個人記録ファイルへ記入するだけでなく、連絡ノートの写しを保管している。 ・いつでも確認できるようにし、支援の検証・改善に努めている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0	・年2回モニタリングを行い、見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	9	0	・4つの基本活動を意識して活動プログラムを設定し、支援を行っている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9	0	・個々の特性に応じた内容や方法で、自己選択の場面を意識的に作るようにしている。	
関係機関や保護者との連携	26	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0	・その子どもを良く理解している者が会議に参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	0	・サービス担当者会議等で連携を取っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9	0	・送迎時担任の先生と会話してチェック等している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9	0	・契約時に保護者からお聞きしている。	・福祉サービスからの情報共有はできているが、保育所等から直接情報を得ていないため、福祉サービス以外の、保育所等とも繋がっていききたい。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	9	0	・記録を保管し、必要に応じて情報提供している。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	9	0	・外部の講師を招いての研修や助言は受けている。	・今年度、県の研修で本格的にスーパーバイズの研修が始まったため、来年度に向けて、取り入れていきたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7	2	・なるべく地域行事、イベント等に参加している。 ・密に関わる機会はないが、公園等で地域の他の子どもと接する機会はある。	・地域の学童などとの交流する機会はないが、来年度は、学童と併用する児童も増えてくることが見込まれるため、学童と連携が取れるように働きかけていきたい。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	6	3	・子ども部会へ毎年参加している。	自立支援協議会（子ども部会）に参加したことのない職員への情報を共有していく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	・送迎時や電話等で伝え合っている。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	3	・年に2回、保護者会を開催している。	・保護者の方へアンケートを実施し、よりちとめている勉強会を行っていく。	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	1	・契約時に説明している。 ・変更があった場合は随時説明を行っている。	・支援プログラムの周知をしていく。	

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0	・日々の利用時に連絡ノートや送迎時、面談時等に保護者の意向を聞き、その都度子どもの成長に合った支援に繋げている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9	0	・該当月に計画書の説明をし、同意を得ている。	・説明が曖昧にならないよう、保護者の疑問点が無いか確認し、説明を行っていく。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0	・連絡ノートや送迎時に相談があれば適宜応じている。 ・経過観察を行い、随時情報共有している。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	9	0	・年に2回保護者会を開催している。 ・すまいるフェスや発表会を行い、保護者やきょうだとも交流できる機会を作っている。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0	・苦情があった場合には迅速に対応する事を心がけている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	9	0	・毎月通信を発行したり、SNSを活用して活動内容や子どもの様子が分かるようにしている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0	・十分に注意するよう心がけている。	
	44	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0	・言葉での意思疎通が難しい利用者には絵カードやイラスト、ジェスチャーなどで伝わりやすいようにし、ご本人も真似して思いを発信できるような支援を行っている。 ・良い方法があれば情報共有を行い、支援に生かしている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わった事業運営を図っているか。	6	3	・地域住民を招待する機会が少なくどこまで広げると良いのか。	・感染症予防・個人情報等の課題から地域住民との交流の機会は作れていない。 ・招待するなどは今後検討していく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	1	・各マニュアルを作成、実施している。 ・今年度は公式LINEを活用して全利用者の保護者に向けて情報伝達訓練を行った。	・訓練を実施し、職員やご家族への周知を行っていく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0	・年に2回地震、火災を想定した避難訓練を実施している。実施内容は連絡ノートに記載している。 ・非常災害時の備品も備えている。	・避難訓練を年2回実施しているが、その日に利用がない場合もあるため、周知の徹底を行っていく。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	9	0	・アセスメントを行う際に確認している。 ・てんかんについての動画視聴やマニュアルの掲示で周知を行っている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	0	・契約時に必ず確認し、保護者様からその都度話を聞いて対応している。	・食物アレルギーの研修を検討していく。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0	・安全計画を作成している。 ・定期的に備品のチェックや遊具の点検を行っている。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	0	・3か月に1度安全取り組みの内容のチラシを配布している。 ・公式ラインを使用して伝達訓練を実施した。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	・あった場合、職員で再発防止の為の話合いを行い、記録を残している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0	・虐待防止委員会を設置し、第三者委員の方も招いて会議を行っている。会議内容は紙面と口頭で周知している。 ・全指導員が虐待防止研修を受講している。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9	0	・前もって保護者様から承諾を頂いている。 6ヶ月に1回説明もしている。	・研修等を行い、指導員の理解を深めている。